

平成29年度 一般会計事業報告

I. 会議の開催状況

1. 理事会

- (1) 平成29年4月21日、第16回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員会の開催について
- (2) 平成29年5月25日、第17回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
- ①平成28年度事業報告並びに収支決算について
 - ②評議員会の開催について
 - ③報告 平成28年度における観光客の入り込み状況について
- (3) 平成30年2月13日、第18回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員会の開催について
- (4) 平成30年3月27日、第19回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
- ①役員の互選について
 - ②平成29年度事業会計予算の補正について
 - ③平成30年度事業計画並びに事業会計予算について
 - ④報告 地方創生・経営健全化計画について

2. 評議員会

- (1) 平成29年5月1日、第11回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①役員の選任について
 - ②評議員の選任について
- (2) 平成29年6月13日、第12回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
- ①平成28年度事業報告並びに収支決算について
 - ②役員の選任について
 - ③評議員の選任について
 - ④報告 平成28年度における観光客の入り込み状況について
- (3) 平成30年3月27日、第13回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①役員を選任について
- ②評議員を選任について
- ③報告 平成29年度事業会計予算の補正について
- ④報告 平成30年度事業計画並びに事業会計予算について
- ⑤報告 地方創生・経営健全化計画について

3. 監査

平成29年5月19日、平成28年度決算について監事から監査を受けた。
監査の結果、事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は適正であると認められた。

4. 賛助会員合同会議

平成29年7月28日、当協会賛助会員との連携を深めるため、合同会議を開催し記念講演を行ったほか、観光事業功労者及び観光施設優良従業員の表彰を行った。

5. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書及び財産目録をホームページで公開している。

II. 業務の概要

当協会は、大きく分けて「観光振興事業」と「コンベンション振興事業」、「県立施設の指定管理事業」の3つの事業を行っている。

1. 観光振興事業

【自主事業】では、平成28年度から開催していた「おどる宝島！とくしま魅力体感博」を「ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博」に名称変更し10月から3月まで開催したほか、JRグループ6社や地方自治体・観光関係団体等が協力して4月から6月まで開催された四国ディステーションキャンペーン（四国DC）を契機とし、「着地型旅行商品造成促進事業」や「観光人材育成研修事業」等を実施した。

また、旅行AGT対策では、観光商談会への参加やPRキャラバンなどにより、本県の観光などの情報発信と旅行商品造成依頼を行った。

海外からのMICE客誘致事業としては、四国インバウンド商談会へ参加するとともに、四国運輸局や四国ツーリズム創造機構、四国の観光やコンベンション推進団体等と協力し、中国・韓国・台湾等でのPR活動をはじめ旅行AGTや教育旅行関係者等の招請事業などを実施した。

【県からの受託事業】としては、四国DCにより訪れる観光客の周遊促進を図

るため二次交通機関対策として「鳴門・祖谷観光たびタクシー」や徳島・鳴門ぐるっとバスを運行した「周遊促進！徳島観光すいすい事業」、旅行AGTに対する本県向け旅行商品造成と送客の働きかけや助成等を行った「周遊促進！徳島観光すいすい事業」、県内外での開催イベントに対する各種支援を行った「魅力あふれる阿波とくしま観光誘客促進事業」、海外からの教育旅行誘致のためのプロモーションや県内視察を行った「外国人観光客倍増推進事業」などを実施した。

2. コンベンション振興事業

【コンベンション振興事業】では、「国際ミーティングエキスポ」や「コンベンション誘致懇談会」等に参加し本県への誘致活動に努めたほか、コンベンション主催者に対する主要観光施設の割引制度の提供や開催支援金の交付、郷土芸能出演経費の補助などを行った。

また、とくしまコンベンション支援セミナーとして、各種支援・助成金等を紹介した「コンベンションセミナー」を開催し本県への誘致促進に努めた。

なお、コンベンション開催時には、観光案内所の開設、歓迎看板の設置やポスター掲出などを行った。

3. 県立施設の指定管理事業

【指定管理事業】としては、「アスティとくしま」と「ときわプラザ」を運営するとともに、「県立渦の道」と「大鳴門橋架橋記念館・エディ」は民間企業と共同で運営した。

「アスティとくしま」や「ときわプラザ」の運営に関しては、引き続き「安全・安心・快適」で「利用しやすい」施設づくりを第一に、「人・物・情報」の交流拠点を目指し、利用者サービスの向上に取り組むとともに、観光やコンベンション振興部門を含めた協会の総力を挙げ、施設全体の稼働率向上に努めた。

また、自主事業等では、県との共催で期間を3日間に拡大した「ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博～メインイベント秋の阿波おどり“阿波おどり大絵巻”」を開催し、有名連による阿波おどりや県外連による「全国阿波おどりコンテスト」等を実施し大好評を得たほか、多目的ホールの空き日を活用した「有名連への阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧」、「ふれあい広場等を活用した観光情報発信」、「阿波とくしま観光かるた大会の開催」などを実施した。

「渦の道」と「大鳴門橋架橋記念館・エディ」の運営に関しても、適正な管理運営と、顧客満足度の更なる向上を目指して、多彩な自主事業を展開したほか、「旅行者等への営業活動」や「開館時間や閉館時間の延長」、「市町村PRイベント」などを行った。

また、「大鳴門橋架橋記念館・エディ」は、平成29年秋から平成30年春まで休館しリニューアル工事を行い、360度4KシアターやLEDデジタルアート体験などを新設し、平成30年3月21日にリニューアルオープンした。

なお、当協会が平成29年度に実施した具体的な事業内容は、附属明細書のとおりである。

平成29年度 事業報告（附属明細書）

観光振興事業

1 観光振興－自主事業

（1）観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

観光情報サイト「阿波ナビ」を最大限に活用した観光情報発信については、観光団体等からの情報を幅広く収集し、「旬の情報」として効果的かつタイムリーに行うとともに、「とくしまフォト紀行」の更なるビジュアル化と付帯情報の充実化に努めた。

観光客へのパンフレットやマップ類の送付にあたっては、「観光情報プラス1作戦」による情報発信の強化・拡大に努めるほか、本県への宿泊者が多い外国人観光客（香港・台湾）向けに繁体字によるSNSでの観光情報発信に努めた。

② 「とくしま観光・物産アドバイザー」制度事業

県外企業の徳島在勤の方々（支社長・支店長・支局長・所長等）を対象に、本県の観光・物産資源等を現地で体感していただき、徳島ファンとして宣伝・広告塔的な役割を果たしていただくため、徳島県物産協会と連携して、神山町の観光資源を紹介した。

（日 程）5月14日（日）

（行 程）神山町えんがわオフィス→神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス→四国山岳植物園岳人の森→神山温泉

③ 観光情報誌「うずうず」作成事業

県内各地のイベントや季節ごとの旬の情報などをくタイムリーに掲載した機関誌を春・夏・秋冬に作成して、観光施設や宿泊施設等に配布した。

従来以上に観光客に見やすい情報誌とするために、紙面構成や掲載内容を見直し、リニューアルを図った。

（発行部数）春 号 20,000部

夏 号 20,000部

秋冬号 20,000部



④ 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア下り線の「徳島県観光情報ステーション」に、パンフレットやポスター、のぼり等を設置するとともに、映像等による観光情報の発信を行った。

特に、GWやお盆期間中等の行楽シーズンには、パンフレット補充や設置ラックを充実させ、来場者が有益に活用できるよう努めた。

⑤ 全国の徳島県人会等への観光情報提供事業

全国各地に広がる県人会の人的ネットワークを活用し、本県の旬の情報を掲載したパンフレットやお得な情報を提供するとともに、「阿波ナビ」や「全国徳島県人会連合会のホームページ」を活用した情報発信に努めた。

⑥ 観光ポスター、パンフレットの掲出による情報発信事業

本四高速（株）、西日本高速（株）、道の駅、南海電鉄グループ等と連携し、本県への観光誘致を目的とした観光ポスターやパンフレットを県外のS・A・P・A等に設置し、近隣圏からの誘客に努めた。

⑦ とくしま観光情報通信員の活用事業

県内各地の観光トピックスやイベントなど、タイムリーな情報を地元の方から直接提供いただく「とくしま観光情報通信員」制度を活用し、阿波ナビを通じて情報発信して、各地の様子や花の開花状況など、旬の情報や隠れた観光資源・観光トピックスを広く周知した。

（平成29年度情報掲載件数） 69件

⑧ とくしま花ごよみの掲載

徳島新聞社の「とくしま花ごよみ(毎月1日の朝刊に各月の花の名所を紹介する特集企画)」に協力し、域内交流を促進した。

（掲載期間）平成29年4月～平成30年3月計12回

（掲載例） 6月：あじさい、花しょうぶ

11月：紅葉、コスモス

3月：桜、菜の花、椿



(2) 観光客誘致促進事業

【国内誘客事業】

① 着地型旅行商品造成促進事業

4～6月に開催した四国デスティネーションキャンペーン（四国DC）を契機に造成した着地型旅行商品等を、「ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博2017」のパンフレットに掲載し、誘客促進に努めた。

② ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博2017の開催

阿波藍や阿波人形浄瑠璃、阿波おどりなど徳島の伝統文化を今に遺した徳島藩「蜂須賀家」や、源平の戦いに敗れた平家の落人が祖谷地方に住みついたという「平家落人伝説」、戦国時代最初の天下人とされる徳島生まれの知勇兼備の戦国武将「三好長慶」など、「あわ歴史」の魅力を存分に体感していただく「ときめき★あわ旅あわ歴史体感博2017」を平成29年10月から翌年3月まで継続開催した。

ア. 特別イベントの開催

徳島県との共催による「秋の阿波おどり」に加え、「新観光列車 四国まんなか千年ものがたり日帰りツアー」を企画催行した。

(催行日) 平成29年9月28日(木)

(行程) しあわせの郷紀行、そらの郷紀行

(参加者) 51名

イ. 新規商品企画や地域イベントのリニューアル

地域イベントについては、観光客が体感可能な参加型双方向交流イベントを目指すよう働きかけるとともに、地域既存資源に新たな魅力や価値を付加した商品企画に努めた。

(商品名) 阿波和三盆糖の原料 竹糖収穫体験

(内容) 貴重な竹糖の収穫体験をとおして、阿波和三盆糖の魅力を発信

ウ. 県内外へのPR活動等

徳島県の大規模キャンペーンと連携したパンフレットやポスター等を作成し、県内外に配布・掲載するとともに、阿波ナビ等を活用した情報発信を行ったほか、マスメディアを活用した有料広告宣伝を実施した。

また、パンフレット紙面にAR機能を搭載し、観光資源の魅力を動画で発信した。

③ 旅行AGT等サポート事業

四国ツーリズム創造機構主催の観光商談会などにおいて、旅行AGTに対する本県観光情報の切れ目のない提供に努めた。

④ 四国四県観光協会連合による四国域内流動活性化事業

四国四県観光協会連合の取組課題である「四国内の旅客流動を活性化」するため、大規模商業施設での四国4県観光PRキャンペーン、JR四国主要4駅や大規模商業施設、ネクスコ西日本の道路情報提供ブース等での観光パンフレット設置、各県の県政記者クラブ等への情報提供などを行った。

また、「第2回四国おもてなし感激大賞 2017」を実施し、おもてなし四国の気運醸成を図った。

ア. 四国4県観光PRキャンペーン

「イオンモール高知」	6月17日（土）
「イオン綾川」	7月 1日（土）
「エミフルMASAKI」	7月23日（日）
「ゆめタウン徳島」	7月29日（土）

イ. 第2回四国おもてなし感激大賞2017準大賞 セントラルホテル鴨島

⑤ 観光商談会等への参加事業

四国ツーリズム創造機構やJR四国等が主催する旅行AGT等を対象とした観光商談会や三旅連主催による旅行AGTへのPRキャラバン、県内市町村や観光関連団体等による観光キャラバンに参加し、本県の観光PRやイベント等の情報発信と旅行商品造成を働きかけた。

⑥ マスコミ活用宣伝事業

情報発信効果が高いマスコミを活用し、県内の魅力あるイベント等について、適宜情報提供するとともに、一部有料広告等を活用しPRに努めた。
（掲載媒体）南海電気鉄道（株） NATTS 10月号
（掲載内容）秋の阿波おどり他

【訪日客誘致事業】

① 海外からのMICE誘致等促進事業

ア. 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光・物産面の魅力発信や認知度向上による訪日客誘致を促進するため、「徳島国際観光・物産交流特使」の活動支援策として、名刺や多言語標記のパンフレット類などをこまめに提供した。

イ. 四国インバウンド商談会2017への参加

四国運輸局と四国ツーリズム創造機構が主催する「四国インバウンド商談会2017」に参加し、東アジア地域、欧米豪等の旅行会社等を招請した場を活用して、観光客誘致を図った。

（日 程）平成29年10月2日（月）～7日（土）

（場 所）JRホテルクレメント高松

（招請者）中国1社、韓国3社、台湾4社、香港4社、タイ2社、シンガポール1社、オーストラリア1社、イギリス1社、フランス1社、アメリカ1社 計19社20名

ウ. VISIT JAPAN トラベル&MICEマートへの参加

国内最大のインバウンド商談会である「VISIT JAPAN トラベ

ル&MICEマート2017」に出展し海外のバイヤーとの商談を行うとともに、観光資源や教育旅行等を紹介し誘客活動を行った。

(期 間) 平成29年9月21日(木)～23日(土)

(場 所) 東京ビックサイト：東京都

(招待者) 28の国と地域より428社

(商談数) 32社

エ. 中国からの誘致

◎商談会

・中国広州・香港旅行AGT誘致訪問

(日 程) 平成29年11月27日(月)～12月1日(金)

(訪問先) 中国広州 3社、香港 10社

◎招 請

・香港MICE取扱旅行社招請事業(VJ事業)

(日 程) 平成29年6月19日(月)～6月23日(金)

(連携先) 四国運輸局、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー

(参加者) 香港の旅行会社 5名

・中国MICE旅行社の視察支援

(日 程) 平成29年10月4日(水)～10月5日(木)

(参加者) 中国の旅行会社ほか 5名

◎受入支援

・中国からのゴルフツアー受入支援

(日 程) 平成29年4月・5月・11月および平成30年3月

(参加者) 延べ136名

・香港からの遍路ツアー受入支援

(日 程) 平成30年3月15日(木)～3月22日(木)

(参加者) 28名

・香港からのインセンティブツアー受入支援

(日 程) 平成30年3月29日(木)～4月1日(日)

(参加者) 40名

・香港からのサイクリングツアー(教育旅行)受入支援

(日 程) 平成29年7月13日(木)～7月25日(火)

※うち徳島プログラム20日(日)～22日(土)

(参加者) 中学生及び教員 22名

- 中国上海教育番組からの教育旅行支援
(日 程) 平成30年1月28日(日) ~ 2月2日(金)
※うち徳島プログラム2月1日(木)
(参加者) 小学生及び保護者 28名

オ. 韓国からの誘致

◎商談会

- 韓国市場商談会inソウルへの参加
(日 程) 平成29年6月7日(水)
(商談社) 17社
- 韓国教育旅行フォローアップ事業
(日 程) 平成29年12月25日(月) ~ 27日(水)
(訪問先) 8社

◎招 請

- 大学教授等の招請事業
(日 程) 平成29年9月6日(水) ~ 10日(日)
(連携先) (公財)高松観光コンベンションビューロー
(参加者) 6名
- 韓国向け訪「東四国」団体旅行PR事業(VJ事業)
(日 程) 平成29年11月8日(水) ~ 12日(日)
(連携先) 四国運輸局、(公財)高松観光コンベンションビューロー
(参加者) 6名

◎受入支援

- 韓国メディアファームツアーの受入支援
(日 程) 平成29年6月30日(金) ~ 7月3日(月)
(人 数) 12名(メディア6名、JNTO1名、その他5名)
- 韓国でのテレビショッピングによる「東四国」
旅行商品PR事業(VJ事業)
(連携先) 四国運輸局、(公社)香川県観光協会
(送客期間) 平成29年8月~平成29年10月
(送客人数) 延べ134名
- 韓国青少年連盟・大田連盟夏季研修の受入支援
(日 程) 平成29年8月1日(火) ~ 5日(土)
(参加者) 87名(生徒80名、引率7名)

・始興市教育旅行海外踏査団の受入支援

(日 程) 平成29年8月7日(月)～11日(金)

(参加者) 28名(生徒20名、引率8名)

・KAIST海外研修の受入支援

(日 程) 平成29年10月22日(日)～25日(水)

(参加者) 23名(生徒22名、引率1名)

・韓国スカウト連盟視察研修の受入支援

(日 程) 平成30年1月31日(水)～2月3日(土)

(参加者) 15名(連盟14名、引率1名)

・VIPツアー受入支援

(日 程) 平成30年2月23日(金)～25日(日)

(参加者) 15名(VIP客14名、引率1名)

・中央基督中学校教育旅行の受入支援

(日 程) 平成30年2月23日(金)～27日(火)

(参加者) 20名(生徒16名、先生3名、引率1名)

・その他の受入支援

大邱カトリック大学病院	TNCツアー	6月	26名
剣山トレッキング	ブライトスプーン	7月	28名
阿波一国参り	ブライトスプーン	11月	6名
始興市海外研修下見	ジャパンライン	4月	4名
釜山から教育旅行下見	ツアータンク	6月	3名
女性校長会	TNCツアー	11月	17名
ハナツアーTVショピング	ハンズトラベル	1月～	173名

カ. 台湾からの誘致

◎商談会・PRキャンペーン

・訪日台湾教育旅行誘致事業(一部訪日教育旅行促進事業)

現地説明会

(日 程) 平成29年6月20日(火)～22日(木)

(場 所) 高雄國賓大飯店、台中林酒店、台北國賓大飯店

(日 程) 平成29年8月8日(火)、10日(木)、11日(金)

(場 所) 台北市立松山高級中學、國立花蓮女子高級中學、
國立陽明高級中學

(日 程) 平成30年3月14日(水)～15日(木)
(場 所) 台中市立豊原商業高級中學、台南市立崇明國民中學

交流座談会

(日 程) 平成29年10月17日(火)
(招請者) 台湾学校長他教育旅行関係者 122名
(会 場) 東京・京王プラザホテル

・オール関西第4回台湾大商談会

台湾大商談会
(日 程) 平成29年9月6日(水)～8日(金)
(場 所) 高雄君鴻國際酒店、台中長栄桂冠酒店、台北晶華酒店

・台北国際旅行博覧会出展

(日 程) 平成29年10月27日(金)～30日(月)
(場 所) 台北世界貿易センター
(来場者) 366,976人(対前年比+1.6%)
(その他) 旅行社訪問5社、学校訪問11校

・大手旅行社顧客向け徳島セミナー

(日 程) 平成29年5月6日(土)
(場 所) 台北・ライオントラベル店舗

・大手企業内従業員向け徳島セミナー

(日 程) 平成29年10月25日(水)
(場 所) 台北・ASUS 華碩電腦股份有限公司

◎招 請

・四国ゴルフツアー造成事業(VJ事業)

(日 程) 平成29年7月30日(日)～8月3日(木)
(連携先) 四国運輸局、(公社)香川県観光協会
(参加者) 太平洋旅行社、大栄旅行社、新進旅行社、黄金帝国旅行社

・訪日台湾教育旅行誘致事業(一部訪日教育旅行促進事業)

(日 程) 平成29年10月17日(火)～21日(土)
(招請者) 台湾学校長他教育旅行関係者10名
(視察先) 高知・徳島(18日～19日)・香川・愛媛

(日 程) 平成29年12月9日(土)、平成30年2月10日(土)
(招請社) 台湾ライオングループメディア部門 JWI マーケティング
(視察先) そらの郷山里物語、南阿波よくばり体験

◎受入支援

・訪日台湾教育旅行受入支援

(学校名) 新北市立鶯歌高級工商職業學校 (生徒25名、教師2名)

(日 程) 平成29年4月16日 (日)

(内 容) 阿波おどり会館、奥御所たらいうどん

(学校名) 台南市立永仁高級中學 (生徒28名、教師4名)

(日 程) 平成29年5月21日 (日) ~ 22日 (月)

(内 容) 阿波おどり会館

(学校名) 國立嘉義高級工業職業學校 (生徒28名、教師等6名)

(日 程) 平成29年5月23日 (火)

(内 容) 阿波おどり会館、渦の道

(学校名) 國立草屯高級商工職業學校 (生徒26名、教師5名)

(日 程) 平成29年5月24日 (水)

(内 容) 徳島県立池田高等学校辻校との学校交流、脇町散策

(学校名) 台南市立南寧高級中學・台南市立大湾高級中學
(生徒21名、教師4名)

(日 程) 平成29年5月22日 (月) ~ 23日 (火)

(内 容) 渦の道、阿波おどり会館

(学校名) 国立潮州高級中学 (生徒22名、教師4名)

(日 程) 平成29年5月23日 (火) ~ 24日 (水)

(内 容) 徳島市立高等学校との学校交流 (姉妹校締結)、
阿波おどり会館

(学校名) 國立政治大學附属高級中學 (生徒25名、教師2名)

(日 程) 平成29年11月8日 (水) ~ 9日 (木)

(内 容) 徳島県立富岡東高等学校との学校交流、阿波おどり会館、
脇町和服体験

(学校名) 國立中興大學附属台中高級農業職業學校
(生徒33名、教師3名)

(日 程) 平成29年12月4日 (月) ~ 5日 (火)

(内 容) 阿波おどり会館、鳴門渦潮、そらの郷民泊

(学校名) 國立新化高級中學 (生徒35名、教師3名)

(日 程) 平成29年12月11日 (月) ~ 12日 (火)

(内 容) 徳島県立富岡西高等学校との学校交流、藍染体験、
そらの郷民泊

(学校名) 台北市立士林高級商業職業学校 (生徒35名、教師4名)
(日 程) 平成29年12月20日(水)～21日(木)
(内 容) 阿波おどり会館、鳴門渦潮

(学校名) 國立彰化女子高級中學 (生徒182名、教師12名)
(日 程) 平成30年2月5日(月)～6日(火)
(内 容) 徳島県立阿波高等学校、徳島県立小松島高等学校との学校
交流、南阿波よくばり体験民泊

(学校名) 國立屏東女子高級中學 (生徒34名、教師3名)
(日 程) 平成30年2月7日(水)
(内 容) 阿波おどり会館

キ. その他の国からの誘致

「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2017」へ出展し、アジア圏及び世界各国の旅行社へ徳島の魅力を発信して、海外からの観光客誘客促進に努めた。(再掲)

(期 間) 平成29年9月21日(木)～23日(土)
(場 所) 東京ビックサイト：東京都
(招待者) 28の国と地域より428社
(商談数) 32社

(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業

外国人が住みやすく、訪れやすい受入態勢整備を図るため、多言語パンフレット(英語・繁体字・簡体字・韓国語)や、外国人観光案内拠点情報(市町村や観光協会等)などを、観光情報サイト「阿波ナビ」で提供するとともに、市町村の観光窓口や観光協会、観光事業者など当協会賛助会員を対象に、訪日客受入時に必要となる諸情報を収録した「花れんちゃんの訪日客おもてなしガイド(USB)」を提供し、観光案内拠点等における「訪日客向けおもてなしサービス」の向上を図るなど、受入態勢整備に努めた。

② 四国DC向け旅行商品フォローアップ事業

四国DC向け体験メニューの継続実施に向けて、市町村の観光部門や観光団体・事業者等の協力を得ながら、体験メニューの見直しや、PRに関する支援・協力を行った。

③ 県内における二次交通利用促進事業

受入対策の中で特に重視されている二次交通機関対策については、既存交通機関(鉄道、路線バスや周遊観光バス、タクシーやレンタカー、レンタサイクル)の運転(行)情報や運賃料金、割引きっぷなどの提供サービスを広く案内するとともに、県からの受託事業「鳴門・祖谷たびタクシー」等のPR

と利用促進に努めた。

④ 観光ボランティア団体等に対する支援・育成事業

県内の観光ボランティア団体や四国観光達人、体験型観光事業者等を対象とした研修会を実施した。(⑦観光人材育成研修事業と共催)

⑤ 地域イベントの開発と地域支援事業

県内各地域が開催する地域イベントや四国DCを契機に造成した着地型旅行商品等のブラッシュアップを図り、観光客の満足度を高められるよう支援協力を努めた。(ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博 再掲)

⑥ 観光案内問い合わせ活用事業

当協会に対する観光客やマスコミ等からの問い合わせは、観光客の動向やニーズ等が把握できる貴重なマーケティングデータであることから、観光振興施策への反映を図った。

⑦ 観光人材育成研修事業

観光による町づくりをはじめ、地域の魅力を活かした商品造りや受入態勢の向上等を推進する担い手を育成するため、県内の観光ボランティア団体や四国観光達人、体験型観光事業者等を対象に人材育成研修事業を実施した。

(日 時) 平成30年3月26日(月) 10:00~12:00

(会 場) ホテルサンシャイン徳島

(講 師) (公社) 全日本きものコンサルタント協会 会員

装道礼法きもの学院 講師 内山琴子 氏

(演 題) 「イバウト 受入に際して求められる日本の伝統的な接客基礎知識」

⑧ 観光地美化キャンペーンの実施

日本観光振興協会四国支部、美波町観光協会との共催により、歩き遍路の休憩場所と近接する海岸の清掃活動を実施し、環境美化に努めた。

(実施日) 平成30年19日(月)

(場 所) 美波町由岐地区木岐 白浜の遍路小屋周辺と砂浜

⑨ 香港からのチャーター便受入対応

本年1~3月に徳島阿波おどり空港に発着した香港からのチャーター便利用客に対する案内等を行うため、期間中外国語に堪能な協会職員2名を同空港に派遣した。

(4) その他の事業

① 自主財源の確保

ア. 徳島県観光協会だより「うずうず」への広告掲載

うずうず春号・夏号・秋冬号の各誌面に広告スペースを設け、計5社の

広告掲載を行った。

イ. とくしま花へんろカレンダーへの協賛及び販売

とくしま花へんろカレンダーへの協賛企業を募るとともに、ばら売りの販売を実施した。(協賛企業18社/21,500部)

ウ. 徳島県観光ガイドマップへの広告掲載

徳島県観光ガイドマップの作成にあたり、4枠の広告スペースを設け、広告掲載を行った。

エ. 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」トップページへの広告掲載

阿波ナビトップページに上段5枠の広告スペースを設け、広告掲載を行った。

オ. 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」詳細ページへの有料掲載

阿波ナビの観光施設等掲載ページにおいて、より詳細な情報を掲載できる情報ページを設け有料掲載を行った。

カ. 阿波おどりベンダー事業

平成22年度に、ダイードリンコ(株)及び四国放送(株)と協力し、オリジナルの自動販売機(阿波おどりベンダー)を制作した。

このベンダーは、阿波おどりをイメージしたデザインで、阿波弁による音声が流れるほか、阿波ナビのQRコードにリンクし、瞬時に本県の観光情報が得られるものである。

また、ベンダーの売り上げの一部は、本県の観光振興に役立てることとしており、平成30年3月14日に贈呈式が行われた。



② 徳島阿波おどり空港等への蜂須賀桜記念植樹

同空港の国際線ターミナル竣工落成を記念し、NPO法人蜂須賀桜と武家屋敷の会との連携で、バスターミナル周辺に蜂須賀桜を5本植樹した。

この他、約2ヶ月間桜の花見を楽しめる花の名所づくりを目指し、神山森林公園イルローザの森に蜂須賀桜や八重桜を各20本植樹した。

③ 観光事業功労者・観光施設優良従業員の表彰等

観光振興面で特に功績のあった観光事業功労者5名と観光施設などにおいて優秀な勤務態度で取り組んだ観光施設優良従業員4名の方々を、平成29年7月28日開催の賛助会員合同会議で表彰した。

また、過去の県観光協会理事長表彰の被表彰者の中から(公社)日本観光振興協会四国支部表彰に該当する適格者として、観光事業功労者3名と観光関係優良従事者1名を推薦し、これらの方々は平成30年5月10日開催の(公社)日本観光振興協会四国支部総会で支部長表彰を受賞された。

2 県からの受託事業

(1) 周遊促進！徳島観光すいすい事業（定期観光バス運行等）

平成29年4～6月に開催された四国DCにより訪れる観光客の周遊促進を図るため、二次交通機関対策として、県内の交通結節点と観光地を結ぶ定期観光バスやタクシーの運行を行った。

① 鳴門・祖谷観光たびタクシー

ア. 運行経路

・「大歩危・祖谷観光号」

徳島駅前→鳴門公園→鳴門大毛→鳴門駅前→徳島阿波おどり空港→松茂とくとくターミナル→道の駅藍ランドうだつ→大歩危峡→道の駅大歩危→祖谷かずら橋夢舞台

・「徳島・鳴門観光号」

祖谷かずら橋夢舞台→大歩危駅上→道の駅大歩危→大歩危峡→道の駅藍ランドうだつ→鳴門公園→鳴門大毛→鳴門駅前→徳島阿波おどり空港→松茂とくとくターミナル→徳島駅前

イ. 運行期間（事前予約制）・日数

（運行期間）平成29年4月1日～平成29年9月30日

（運行日数）25日

ウ. 料金 2,500円

② 徳島・鳴門ぐるっとバス

ア. 運行経路

徳島駅前～松茂とくとくターミナル～鳴門駅前～小鳴門橋～大毛～大塚国際美術館～亀浦口～鳴門公園～鳴門観光港～霊山寺～ドイツ館～四軒屋南～徳島駅前

イ. 運行期間・運行日数

（運行期間）平成29年4月1日～平成29年9月30日

（運行日数）土、日、祝、8月14日・15日運行 61日

ウ. 料金 1日乗車券 1,000円（大人）

(2) 周遊促進！徳島観光すいすい事業（バス助成）

旅行会社に対する本県向け旅行商品の造成と送客を働きかけるとともに、団体旅行等の需要喚起を目的とした対旅行会社助成等を行った。

【助成実績】 (ツアー数) 107本
(バス台数) 226台
(集客人数) 8,007名

(3) とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに、本県での様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。

また、映像制作関係者やメディアに関心の高い一般客を対象とした見本市に出展し、徳島県のPRに努めた。

【支援実績】59件(テレビ39件、CM2件、映画3件、雑誌等15件)

○「第3回ふるさと甲子園」出展

映像制作関係者210人、一般客2,850人が来場。

徳島県のPRを行うとともに、お土産部門において、徳島県鳴門市の「しそわかめ」が1位を獲得した。

(開催日)平成29年8月26日(土)

(開催場所)東京都千代田区秋葉原「秋葉原UDX」

(4) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客促進事業

観光誘客を促進するため、県内で開催されるイベントに対し支援を行った。

① ふるさとカーニバルを通じた観光誘客

第40回「ふるさとカーニバル阿波の狸まつり」への助成により、郷土芸能の発表、各市町村の特産品など徳島の魅力をPRした取組みを支援した。

(実施日)平成29年11月3日(金)～5(日)

(実施場所)徳島市藍場浜公園ほか

(集客人数)初日10万人、2日目8万人、最終日12万人 計30万人

② ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博2017のPRキャンペーン

「ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博2017」のPR及び、メインイベントとして徳島県と県観光協会が共催する「秋の阿波おどり～阿波おどり大絵巻」のPRを行うため、観光パンフレットの配布及びメディアや旅行AGT等を訪問した。

(日時)平成29年10月10日(火)～11日(水)

(場所)JR京都駅、奈良近鉄駅ほか

(訪問先)京都放送、京都新聞、奈良テレビ、奈良新聞社ほか

③ 「新観光列車四国まんなか千年ものがたり日帰りツアー」を企画催行(再掲)

新観光列車「四国まんなか千年ものがたり」を貸切運行し、沿線の観光地や地元の食を満喫できるツアーを企画催行した。

(催行日)平成29年9月28日(木)

(参加者)51名

(5) 体験型観光ステップアップ事業

体験型観光の先進地として、さらなる飛躍を図るため、県下全域での受入態勢を構築するなど、体験型観光のブランド化に努めた。

① コーディネート組織体制整備及び受入のスキルアップ支援

体験型観光受入組織がない県東部地域を対象にコーディネート体制の充実や体験型観光受入による地域活性化の効果、受入における基本的な考え方などの研修を行い、県東部の体験型観光ステップアップを図った。

(日 時) 平成30年3月26日(月) 13:30~15:30

(会 場) ホテルサンシャイン徳島

(講 師) 株式会社南信州観光公社 代表取締役社長 高橋充 氏

② 体験型観光の誘客促進

ア. 体験型観光の更なる顧客獲得を図り、海外からの教育旅行誘致促進ため、台湾旅行会社に対しファミツアーを実施した。

(招請旅行社) 台湾ライオングループメディア部門 JWI マーケティング

(視察行程) 12月9日(土) そらの郷山里物語民泊家庭視察

2月10日(土) 南阿波よくばり体験民泊家庭視察

イ. 全国の学校関係者が購読する教育家庭新聞において、「そらの郷山里物語」、「南阿波よくばり体験」の魅力をPRするため広告掲載した。

(発行部数) 22万部

(発行回数) 毎月2回

(6) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

徳島県のイメージアップや、郷土の伝統芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行った。

(7) 観光情報提供システム整備事業

観光客の誘致促進、受入態勢の充実を図るため、観光情報提供サイト「阿波ナビ」の維持管理を行った。

(8) 外国人観光客倍增推進事業(うち教育旅行促進)

海外の教育機関、教育旅行取扱旅行会社等へのセールスプロモーションや県内視察を通じ、本県の魅力や受入体制のPRを行った。

また、受入時には各種体験プログラムの提案の他、県内学校との交流時には通訳手配、交流プログラム支援等を行い、教育旅行の誘致促進に努めた。

(9) 「スポーツ王国」立国事業

県内のスポーツ施設やスポーツ合宿受入宿泊施設等と連携し、県外の企業や大学等のスポーツ合宿取扱旅行会社を営業訪問するとともに、思い出づくりサ

ポートによる徳島県内での合宿リピーター拡大を図った。

(旅行会社営業訪問) 5社
(思い出づくりサポート) 6団体

(10) 着地型観光・コンベンション事業

着地型観光プランの掲載や、旅行会社向けのメニューを掲載した観光素材集を作成した。

また、コンベンション開催決定後に主催者に対するツアーの提案や、PR動画の作成、コンベンション参加者向けに着地型観光プランの紹介を行った。

(11) とくしま観光誘客プロモーション事業

本県への「観光客数」や「宿泊者数」を増加させるため、OTAを活用した誘客促進キャンペーンや旅行会社に対するセールス、主要都市での観光キャンペーン等を実施した。

① OTAを活用した誘客促進キャンペーン

OTA（オンライン・トラベル・エージェント）である楽天トラベル、じゃらん、るるぶとタイアップし、本県への誘客につながるキャンペーンを実施した。

② 旅行会社向けセールスの実施

ANAセールス本社等で徳島観光プロモーションを実施するとともに、東京都や福岡市内の旅行会社で観光素材・助成制度等の紹介を行った。

また、徳島県内の観光素材、着地型旅行商品等を旅行会社へ紹介するための「徳島県観光素材集」を作成した。

③ 一般向け観光プロモーションの実施

関西の通信社・新聞社・雑誌等を対象とした「プレスツアー」を実施し、徳島の食や文化を紹介した。

また、東京都・富山市で観光キャンペーンを開催するとともに、読売旅行の本県を訪れるツアーについて新聞折込み広告で告知を行った。

3 収益事業

(1) 観光宣伝・情報発信事業

① 徳島県観光ガイドマップ作成事業

徳島県内の観光情報を広く発信するため、県内全域の地図や主な観光施設、グルメなどを写真で紹介するとともに、「徳島新鮮なとく市」など新規情報を更新した「徳島県観光ガイドマップ」を作成し、県内外で実施する観光キャンペーンや観光案内所、観光施設等で配布した。

(発行部数) 270,000部

② とくしま花へんろカレンダー作成事業

花による町づくりとフラワーツーリズムを推進するため「とくしま花のある風景フォトコンテスト」入賞作品をはじめ県内各地の花の名所を写した写真を掲載した「とくしま花へんろカレンダー」を作成し、窓口販売および協賛販売を行った。

また、長きに渡り協賛いただいている企業・団体を対象に、感謝状の贈呈を行った。

(印刷部数) 26,500部

(掲載地例) 吉野川市川島 菜の花、剣山 紅葉、
上勝町山犬嶽 苔、鳴門市大津 蓮



(2) 旅行業推進事業

① 「旅行業」の推進に向けて(再掲)

旅行商品造成について、下半期に開催した「ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博2017」の特別企画として、JR四国の新観光列車「四国まんなか千年ものがたり」をチャーターした旅行商品を企画・募集し催行した。

(催行日) 平成29年9月28日(木)

(内容) しあわせの郷紀行、そらの郷紀行

(参加者) 51名

コンベンション振興事業

1 コンベンション振興事業

(1) 情報発信事業

MICE事業の推進を目的とし、今回から商談会形式で開催した「国際MICEエキスポ」や、大阪観光局主催の「大阪MICEディスティネーションショーケース」へ出展し、本県のPRと誘致を行った。

① コンベンショントレードショーへの参加

ア. 第27回国際MICEエキスポへの参加

国内最大級のMICE商談会である「国際MICEエキスポ」に出展しMICE関連団体等に対するPRに努めた。



(期 間) 平成30年2月28日(水)
(場 所) 京王プラザホテル5階
「コンコードボールルーム」
(来場者数) 949名

イ. 大阪MICEディスティネーション・ショーケース2017への参加
大阪MICEディスティネーションショーケースへ出展し、主に関西
で検討されているMICE主催者等に対しPRと誘致に努めた。
(日 程) 平成29年12月7日(木)
(場 所) コングレコンベンションセンター(大阪府大阪市)
(招待者数) MICE主催者 国内69名 海外28名 計97名

② 情報誌の作成及びホームページでの情報発信事業

当協会発行の情報誌及びコンベンション振興部のホームページにおいて、
コンベンション情報を発信した。

③ コンベンションセミナーの開催

徳島大学の協力で、蔵本キャンパスおよび常三島キ
ャンパスにおいて、各種支援・助成金等を紹介する「と
くしまコンベンション支援セミナー」を開催し、本県
への誘致促進に努めた。



ア. 徳島大学蔵本キャンパス

(日 程) 平成30年2月16日(金)
(場 所) 日亜ホール White ホール小

イ. 徳島大学常三島キャンパス

(日 程) 平成30年2月19日(月)
(場 所) 日亜ホール(産学官連係ホール)

(2) 誘致対策事業

① 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」事業

コンベンション誘致による地域経済効果を高めるた
め、県市や商工会議所、その他関連団体等による「と
くしまコンベンション誘致推進協機会」を運営し、産
官学民の総力を結集したコンベンション誘致体制を整
え、精力的に取り組んだ。



○ 平成29年度協議会の開催

(日 時) 平成30年3月28日(水) 13:30~
(場 所) アスティとくしま 3階 第2特別会議室

② 全国コンベンション誘致促進事業

全国規模のMICE誘致促進を図るため、本県のコンベンション施設等の視察を希望する主催者を受け入れた。

(3) 受入支援事業

① コンベンション支援助成金の交付事業

対象要件を満たす、コンベンション主催者に対し開催費を助成するほか、郷土芸能等のアトラクション助成やシャトルバス運行等の助成を行った。

(交付件数) 58件
(交付金額) 30,891,573円

② 主要観光施設の紹介及び割引制度の提供事業

コンベンション参加者に対して、各種観光パンフレットを提供するとともに、県内観光地の優待割引制度を提供し、県内での滞在性や周遊性を高めた。

③ 歓迎看板の設置事業

参加者が500名以上の全国規模のコンベンションの開催時においては、徳島阿波おどり空港及びJR徳島駅に歓迎看板を設置した。

また、大規模なコンベンション開催時には街を挙げての歓迎ムードを高めるため、ホテル・飲食店等の入り口に歓迎ポスターを掲示した。

(歓迎看板設置件数) 14件
(歓迎ポスター配布件数) 7件

④ 大規模コンベンション開催情報発信事業

県内でのコンベンション開催情報を、テレビやラジオなどのメディアや、観光、宿泊、飲食、土産などの関連団体に対し提供した。

⑤ コングレスバックの提供事業

コンベンション開催時に、当協会が作成しているコングレスバックに、大会名等を記載し安価に提供した。

(提供枚数) 5,735枚

⑥ 戦略的MICE誘致事業

主催者及び参加者向けの各種ツール（サポートブック、観光モデルプラン、食と土産の冊子、チームビルディング等）を活用し誘客を図るとともに、大規模コンベンション開催時には公共の場でのパーティプランの提案、大規模学会専用飲食店ガイドの協力のほか、タクシーでの観光モデルプランと県内観光地優待割引パンフレットの作成を行った。

(タクシーでの観光モデルプラン) 作成部数 30,000部
(県内観光地優待割引パンフレット) 作成部数 30,000部

⑦ MICEおもてなし事業

大規模コンベンション開催時に観光PRブースを設け各種案内を行い、参加者の満足度を高めた。

また、阿波おどりを含め郷土芸能の紹介を行い、本県ならではの「おもてなしプラン」の提案を行った。

⑧ コンベンションの魅力度向上事業

コンベンション開催時に「彩＝華やかな演出」を添える「阿波おどりの衣装（当協会所有）レンタル事業」を、コンベンション主催者に対しPRを行なった。

(4) 各種情報の収集と提供事業

国内・国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コングレス・コンベンションビューロー）等のノウハウや諸情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携して、開催計画などの情報収集と意向調査に努めた。

また、本県の「観光」や「食」、「伝統芸能」などの魅力あるアフターコンベンション情報を主催者に対し積極的に発信するとともに、主催者のWebサイトへの掲載や、前年度大会でのPRなどを行い、県内での滞在日数や周遊箇所数の拡大に努めた。

① コンベンション主催者へのアンケート

県内の主催者やコンベンション施設、旅行AGT等に対してアンケート調査を行い、今後の誘致策の情報収集に努めた。

② 各種MICE会合への参加

各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、他都市のMICE関連機関との連携を図るなど、積極的な情報収集に努めた。

（抜粋）

- ・平成29年度日本コングレスコンベンション・ビューロー総会（東京都）
- ・中国・四国地区コンベンション推進協議会平成29年度総会（愛媛県）

施設等管理運営事業

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

平成28年度から5年間、当協会が引き続き施設の管理運営を担っているアスティとくしまでは、「安全・安心・快適」で「利用しやすい」施設づくりを第一に、「人・物・情報」の交流拠点を目指し利用者サービスの向上に取り組むとともに、観光やコンベンション振興部門を含めた協会の総力をあげ、施設全体の稼働率向上と利用者数の拡大に努めた。

特に、利用促進を目的とした事業等を積極的に開催し、徳島の魅力を発信する拠点として、にぎわいづくりや地域の活性化を図った。

(2) 利用状況

内 訳	平成28年度	平成29年度	対前年比
多目的ホール及び会議室			
開館日数(ホール)	356日	356日	100.0%
稼働日数(ホール)	258日	215日	83.3%
稼働率(ホール)	72.5%	60.4%	83.3%
使用料金額(ホール・会議室)	121,639,440円	96,321,110円	79.2%
駐 車 場			
利 用 台 数	199,047台	189,276台	95.1%
利 用 金 額	39,809,400円	37,855,200円	95.1%

(3) 誘致活動状況

全国展示場連絡会議等にも積極的に参加し、県外コンベンション施設との交流を図り、誘致につながる情報収集を行った。

- ・平成29年 5月18日 山形国際交流プラザ(山形市)
- ・平成29年10月19日 マイドームおおさか(大阪市)
- ・平成29年12月 7日 西日本総合展示場(北九州市)
- ・平成30年 3月13日 西日本総合展示場(北九州市)

(4) 館内設備の維持更新等

施設設備の維持については、経年劣化状況や優先度を把握し、安全性とコストの両面から検討を行い、県との事前協議を綿密に行いながら効率的、効果的に実施した。

(5) 自主事業及び利用促進を目的とした事業展開

① 大会・会議等の誘致事業

コンベンション事業部との連携により、下記コンベンション誘致関連イベントに参加し、各団体と商談しコンベンション誘致を図った。

- (名 称) 第27回国際ミーティングエキスポ(IME2018)
- (期 間) 平成30年2月28日(水)
- (場 所) 京王プラザホテル(東京都)

② 地元企業及び学校関係の会合、芸術・文化イベントの誘致

多目的ホールや会議室等の利用促進を図るため、企業の商談会や商品説明会、学校や各種団体の会合、芸術・文化イベントの開催場所として利用していただけるよう、積極的な営業活動を行った。

③ 秋の阿波おどり“阿波おどり大絵巻”

「ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博～メインイベント秋の阿波おどり“阿波おどり大絵巻”」を徳島県との共催で、期間も3日間に延長し、一層の集客確保を図った。

有名連による阿波おどり乱舞と観客の踊り体験の他、「徳島県阿波踊り保存協会」「藍吹雪」の上演、阿波人形浄瑠璃、阿波木偶「三番叟まわし」、昨年度に続く全国の阿波踊り連を招いての「全国阿波おどりコンテスト」を開催した。

また、特産品やグルメ、民芸体験、観光・物産事業等の紹介ブース出展により、交流人口の拡大やにぎわいの創出による地域活性化を図った。

事前に県外の旅行会社等への営業活動やPRキャンペーン等を行い、県外からの誘客を図った。

(開催日) 平成29年11月3日(金・祝)～5日(日)

(入場者) 23,000名



④ アスティおどりひろば(県指定事業)

夏の阿波おどり開催期間中の昼間対策として実施中のアスティおどりひろばは、「県内有名連による上演」に加え、「阿波おどり体験」や「阿波踊り浴衣の着付け体験」などを継続実施した。

PR用リーフレットを早期に作成・配布、県外旅行会社への誘客営業、会場内の特産品コーナーの充実を図り、来場者増に努めた。

(開催日) 平成29年8月12日(土)～15日(火)

(入場者) 12,300名



⑤ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

多目的ホールの空き日については、可能な限り有名連の「はな・はるフェスタ」や「夏本番の阿波おどり」の練習場所として提供しているが、これらの情報をマスコミや市内宿泊施設等に情報発信し、多くの観光客等に観覧していただくことで、にぎわいの創出やおもてなしの向上に繋がった。

- ・29年 はな・はる・フェスタ練習で(4月) 6日間開催
- ・29年 夏の阿波おどり練習で (6月) 10日間開催
- ・30年 はな・はる・フェスタ練習で(3月) 3日間開催



⑥ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場は、県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用しており、今年度も引き続き、写真展やパネル展等を開催し、県内各地のPR活動を支援した。



開催期間	展示内容
1/18 ~ 4/19	四国山岳植物園『岳人の森』と土須峠周辺の自然展
2/4 ~ 6/15	神山町花へんろ紀行
4/20 ~ 5/31	第1回藍住町バラフォトコンテスト写真展
6/16 ~ 7/27	徳島県内の清流めぐり 水辺の写真展
6/1 ~ 7/27	第29回穴吹川筏下り大会写真展
7/28 ~ 8/31	南阿波の観光の魅力紹介展
9/1 ~ 9/31	日和佐八幡神社秋祭り ちょうさ（太鼓屋台）写真展
10/1 ~ 12/3	第11回とくしま花のある風景フォトコンテスト写真展
12/4 ~ 1/7	第4回千年のかくれんぼフォトコンテスト写真展
1/10 ~ 2/14	第2回藍住町バラ フォトコンテスト写真展
2/17 ~ 3/29	鳴門百景フォトコンテスト写真展
1/30 ~ 4月	アスティひな祭り

⑦ とくしま花のある風景フォトコンテスト

県内各地の花の名所を撮影した「第11回とくしま花のある風景フォトコンテスト」を開催し、応募作品を「とくしま花のある風景パネル展」としてふれあい広場に掲出した。

（募集期間）平成29年6月～8月31日

（応募総数）253点（106名）

（掲出期間）平成29年10月3日～12月5日



⑧ 阿波とくしま観光かるた大会

本県の将来を担う子どもたちに、郷土の魅力や素晴らしさを楽しく学び、郷土愛を育む目的で開催している当大会は好評であることから、今年度も「第8回阿波とくしま観光かるた大会」として継続開催した。

（開催日）平成30年1月14日（日）

（参加者）358名

（入場者）1,000名



⑨ 明日亭徳島落語会

今回は、「桂 七福」の落語とジャグリングサークル「笑（シアオ）」による演目を幕間に入れ、「第14回明日亭徳島落語会」を継続開催した。



(開催日) 平成30年1月8日(月・祝)

(入場者) 100名

⑩ 環境対応施策

今年度も、緑のカーテンの設置をはじめ、クールビズやウォームビズ対応に引き続き取り組むとともに、照明器具等を適宜照度効率の高いLED照明器具に交換する等、節電対策を図った。



⑪ その他

予約管理システムやホームページ等は、更なる利用者サービスの向上を図るため適宜改良・更新し、より利便性の高い施設づくりに努めた。

2. 徳島県立男女共同参画交流センター(ときわプラザ)の管理運営事業

「アスティとくしま」と同様、平成28年度から5年間、引き続き施設の管理運営を担っており、「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくりを第一義とし、「人・物・情報」の交流拠点を目指し、利用者サービスの向上に取り組んだ。

また、各関係者等との連携を密にしながら、「アスティとくしま」を含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、「ときわホール」や研修室等の利用率向上と来館者数の増加に努めた。

(1) 利用状況

内 訳	平成28年度	平成29年度	対前年比
ときわホール			
開館日数	354日	354日	100.0%
稼働日数	153日	150日	98.0%
稼働率	43.2%	42.4%	98.1%
使用料金額	6,028,120円	6,712,630円	111.4%
展示ギャラリー			
開館日数	354日	354日	100.0%
稼働日数	114日	104日	91.2%
稼働率	32.3%	29.4%	91.0%

※利用金額には、研修室1及び2の収入も含む。

(2) 誘致活動状況

アスティとくしまと同様、大会・学会等誘致と併せた利用促進に努めた。

(3) 事業実施状況

項 目	実 施 要 綱
徳島新聞「映画と催し」欄への掲載	「アスティとくしま」と同様に掲載し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

渦の道等の管理運営について、共同管理運営者である(株)ネオビエントとの連携を密にしながら、入館者数の拡大と顧客満足度の更なる向上に取り組んだ。

具体策として、観光客に対する自主事業の展開や利用者サービスの向上に努めるとともに、旅行AGT等に対する誘致活動などを行った。

また、大鳴門橋架橋記念館（エディ）は、平成29年秋から平成30年春までリニューアル工事のため休館し、体験型の展示設備を新設し平成30年3月21日にリニューアルオープンした。

なお、平成29年度末で指定管理期間が任期満了となることから、第五期目となる指定管理者に(株)ネオビエントと共同で応募し、引き続き、平成30年度から5年間施設運営を担うこととなった。

(1) 利用状況

内 訳	平成28年度	平成29年度	対前年比
渦の道			
入館者数	518,300 人	527,829 人	101.8 %
入館料	202,588,710 円	208,914,220 円	103.1 %
エディ			
入館者数	82,441 人	55,136 人	66.9 %
入館料	36,561,670 円	24,166,890 円	66.1 %

(2) 自主事業

徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館エディ

項 目	内 容
鳴門公園地域渋滞対策事業の実施	観光客が集中するゴールデンウィーク（5/3～5/7）、お盆期間（8/11～15）に、徳島県や鳴門市をはじめ地元関係機関の協力のもと、鳴門公園地域の渋滞緩和に努めた。臨時駐車場から千畳敷までシャトルバスを運行し、効果的かつ効率的に業務を実施した。
淡路サービスエリアでの誘致活動の実施	県内市町村や観光協会等と連携し、淡路サービスエリア下り線において観光キャンペーンを実施し、誘客及びプロモーションに努めた。 また、同サービスエリアで本四高速(株)主催のイベント「お客様感謝デー（10/6）」にも参加し誘客活動を行




<p>旅行者等への営業活動</p>	<p>った。</p> <p>四国ツーリズム創造機構が主催する東京・大阪商談会に参加し、AGTに対し営業活動を行った他、県、鳴門市うずしお観光協会、旅連等が実施する旅行AGT訪問営業に同行し送客依頼を行った。</p> <p>また、四国インバウンド商談会では、香港、台湾、韓国、中国等、東アジアの旅行AGTを中心に営業活動を行うとともに、ファミツアー受入れの際には積極的に情報提供を行い利用促進に努めた。</p> <p>香港チャーター便就航前には、渦の道館長も香港へ赴き徳島県PR隊の一員として広報・誘致活動を行った。</p>
<p>開館時間の延長</p>	<p>渦の道はGW（4/29～5/5）及び夏休み期間（7/20～8/31）は開館・閉館時間を1時間ずつ延長した。</p> <p>また、エディはGWとお盆期間（8/11～15）に開館・閉館時間を1時間ずつ延長、お盆期間以外の夏休み期間は閉館時間を1時間延長し、観光客の利便性向上や施設の利用促進に努めた。</p>
<p>SNSの活用</p>	<p>フェイスブックやツイッター、インスタグラムを活用し、本日の渦潮の見頃時間やイベント情報、鳴門公園周辺の旬な観光情報等の発信を行った。</p> <p>また、英語や繁体字などによる多言語化を図り、東アジアを中心とした外国人客を対象に情報発信し、利用促進に努めた。</p>



渦の道

項目	内容
<p>阿波おどりの上演</p>	<p>徳島の有名連に渦開きの3月から概ね毎週末、渦の道展望室で阿波おどりの上演や、観光客への阿波おどりレッスンなどを行い、利用促進及び顧客満足度向上に努めた。その場でお客様自身が撮影された写真がSNSに上げられ、情報発信としても大きく生かされたイベントとなった。（3月の土・日計4日間）。</p>
<p>迎春イベントの実施</p>	<p>渦の道では、初日の出イベントとして、元旦午前6時30分に開館し、初日の出スポットとしてこれまで定着を図った結果、大勢の方に参加いただいた。</p>



ボランティアガイド「鳴門公園コンシェルジュ」の活動	<p>渦の道展望室で、国内外の観光客に渦潮のできる仕組みや大鳴門橋の解説、周辺観光地の案内等を行い顧客満足度向上に努めた。</p> <p>渦潮が発生しない時間帯でも、滞在の楽しみを見出せるように工夫を凝らした。</p>	
市町村PRイベント	<p>美馬市に渦の道エントランスを無償で貸し出し、観光PRやプロモーション、イベント告知に協力した。</p> <p>「うだつを生ける」のイベントPRを実施することで、タイムリーに効果的に情報提供をすることができた。</p>	
渦の道施設の有効活用・渦の道開館時間の延長	<p>渦の道遊歩道の休憩所を活用し、遊歩道第1・2休憩所には第九や坂東俘虜収容所の説明看板を設置し、翌年に控えた第九アジア初演100周年のPRに協力した。</p> <p>早朝または夕方の営業時間外に渦潮が発生する日は、お客様からの問い合わせや延長の要望が多いため、開館または閉館時間を1時間延長した。</p> <p>(通年実施、開館時間延長95日、4,676名、閉館時間延長18日、847名)。</p>	
香港チャーター便就航受入体制の強化	<p>渦の道入り口に繁体字で「ようこそ徳島へ」の横断幕を掲げ、歓迎の気持ちを全面的に打ち出した。</p> <p>また、オリジナルのポストカードとスタッフ手作りの折鶴ストラップをセットにしプレゼントをした。</p>	

大鳴門橋架橋記念館エディ

項目	内容
渦の道との共通券販売強化ファミリー向けイベントの実施	<p>土、日、祝日、春休み、GW、夏休み等の繁忙期に、渦の道とエディ共通券の屋外販売を実施した。</p> <p>夏休み期間の購入者にはガラポン抽選会を実施した。(夏休み期間中参加者 13,776名)</p> <p>夏休み期間はその他に「カブト虫・クワガタムシふれあい体験!」、「ちりめんモンスターをさがせ!」を開催し、セット券の販売促進とサービス向上に努めた。</p>
リニューアル告知誘致活動	<p>3月21日からエディがリニューアルオープンするにあたり、工期期間中はオープンに向けてDMの発送作業やテレアポ等の誘致活動を行った。</p> <p>同時に各種商談会へ積極的に参加をし、新たなエディのコンテンツをセールスポイントに誘致活動を行った。</p>

